

教えて! 市立病院



【今月のドクター】
診療部長兼
整形外科部長
かわじ ひろゆき
川路 博之 医師

人工股関節置換術とは、変形性股関節症や大腿骨頭壊死、関節リウマチなどで傷んだ股関節を人工関節に置き換える手術です。開業医を受診して、運動療法（筋肉を鍛えるトレーニングを行う治療）や薬物療法（痛みや炎症を抑える外用薬や内服薬を処方）といった保存療法などを行っても痛みが強

〈第 121 回〉

人工股関節置換術について

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

い場合は手術をおすすめします。X線画像だけの判断ではなく、痛み具合や生活上の不便さをお聞きし、患者さんに「こういう治療もありますよ」とお話をし、合併症などのリスクと手術による効果をよく理解してもらい、ご希望があれば手術となります。

手術を決めてから手術までは、約1カ月を要します。手術に必要な全身の検査をしたり、手術の2週間前くらいに輸血用として自分の血液を採取する自己血貯血を行います。手術の前日に入院していただき、2日目に手術、翌日から

立位歩行訓練を開始します。退院に向けた日常生活のための動作ができるようにリハビリを行い、（杖を使用してでも）自分で歩けるようになれば退院です。だいたい18日間の入院を目途に退院を目指します。もともと体力が落ちていたり、筋力年齢が高齢の人などは、回復期リハビリテーション病棟のある三友堂病院などへ転院していただきますが、ほとんどの患者さんは市立病院から退院されます。

股関節痛でお困りで手術をご希望の方は、紹介状を持参して整形外科を受診してください。